



3/11

野岳ため池が「ため池百選」に選定

野岳ため池が全国の「ため池百選」に選ばれました。ため池の多様な役割とその必要性についてアピールするため、農林水産省が昨年度募集を行ったもので、県内では2か所しか選ばれませんでした。

選定の理由として、野岳ため池は、県下最大の貯水量を誇ると共に、約340年の長い歴史があり、今もなお、120ヘクタールの田畑を潤す水源として活用されていることが高く評価されました。市では今後、重要な観光資源として市内外へアピールしていくことにしています。



4/16

マイツリー会員が清掃活動を実施

大村市マイツリー会員の皆さんが、国道34号の歩道などの清掃をボランティアで行いました。

国道34号の街路樹(サクラ)に氏名などのネームプレートを設置し、マイツリーとしてお世話をしていたらいており、この日は、約20人の会員が成長を確認しながら、市役所前から水主町交差点までを清掃。清掃活動を終えた会員の皆さんは、「思ったより吸い殻などのごみが多かった。」と驚いたようです。感想を話されました。

今年も年2回程度の清掃活動を行い、マイツリーの成長を見守ることにしています。



4/26

平成22年国勢調査実施本部を設置

10月1日に実施される国勢調査に向け、国勢調査大村市実施本部を設置しました。看板は、長崎南部森林組合大村支所様から寄贈された材木を使用し、市長・副市長が掲げました。

国勢調査は、5年に1度行われる重要な調査で、国や地方公共団体の基礎資料として、今後のまちづくりや各種行政施策に生かしていきます。

なお約400人の調査員を7月15日まで募集しています。詳しくはお問い合わせください。

企画政策課(内線224)



4/28

国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会総会

市内12団体で組織する「国道34号等大村市内幹線道路整備促進期成会(会長:松本崇市長)」の総会が開かれました。

総会では、国道34号の玖島中学校入口交差点から国立長崎医療センター入口交差点までの拡幅工事が完了し供用開始されたことや、久原池田線の全線の供用が開始されたことなどが報告されました。

同期成会では、国道34号や幹線道路網の早期整備をめざして、本年度も引き続き協力し、国や県に対して要望活動などを行っていきます。



5/1

大村市ボランティアセンターが開所

西三城町の総合福祉センター1階に「大村市ボランティアセンター」を設置し、開所式を行いました。

これまで、市と社会福祉協議会が開設していたボランティアセンターを統合し窓口を一本化。こうした統合は、県内で長崎市、佐世保市に次いで3か所目となります。

センターの運営は、市が委託した社会福祉協議会が運営し、ボランティア活動の支援などを行います。

開所時間は午前10時から午後7時まで、毎週月曜日が休館日となります。